

みなとみらい21 Information

2004
Vol. 74

開発が進む 「旧高島ヤード」地区

横浜ランドマークタワーやクイーンズスクエア横浜、パシフィコ横浜など、みなとみらい21地区の代表的な施設が並ぶクイーン軸から横浜駅方向へと開発が進められてきたみなとみらい21中央地区も、その北端部にあるかつて旧国鉄の操車場であった旧高島ヤード地区において、基盤整備工事が最終段階を迎えています。また、企業進出の動きも活発で、当地区の開発が本格的に動き始めています。

平成16年6月24日、カルロス・ゴーン日産自動車社長と中田横浜市長による共同記者会見において発表された日産自動車株式会社のみなとみらい21地区への本社機能の移転計画は、各界に反響を呼び、みなとみらい21地区への人びとの関心を改めて高めました。その場所というのが、この旧高島ヤード地区なのです。

多様・多彩な施設の進出により賑わいのある街へ

横浜市では、「新高島駅」周辺地区において、商業・業務・文化・スポーツ・アミューズメント、さらに住宅も含めて、多様な機能の集積を図る街づくりを進めてきました。平成16年11月に駅前の53街区にオープンした「横浜ブロードキンググループ」による総合エンタテインメント施設「GENTO YOKOHAMA」に続き、55・56街区では、株式会社セガによる映像文化エンタテインメント施設の進出、66街区では、日産自動車株式会社の本社機能の移転が計画されており、集客力向上と賑わい創出において注目されています。

また61街区では、日産グループにより

「横浜F・マリノス」の拠点となる施設の立地が決まりました。さらに、横浜市では隣接地の60街区で、サッカーを中心としたスポーツ拠点「横浜みなとみらいスポーツパーク(仮称)」の整備計画を進めています。ここにスポーツ施設の一大拠点が誕生することになり、市民スポーツの振興およびプロスポーツと市民の交流の場としての効果が期待されています。

みなとみらい21中央地区66街区
事業予定者決定共同記者会見



中田市長からゴーン社長に事業予定者決定通知書を渡す

50街区には高層分譲住宅、賃貸住宅や商業施設など、多様なライフスタイルに対応する新しい都市型住宅が建設されます。



高島中央公園の耐震型循環式地下貯水槽

終盤を迎えた みなとみらい21 地区の 基盤整備工事

現在、旧高島ヤード地区の基盤整備は急ピッチで工事が進められています。

当地区を東西に貫くみなとみらい6号線は、平成17年春の供用開始に向けて整備を行っています。公園関係では、高島中央公園とともに、帷子川沿いには水際公園を整備する計画で、これらの公園が整備されることにより、みなとみらい21中央地区内の「緑のネットワーク」が完成します。さらに、国道1号と水際公園を結ぶ快適な歩行者プロムナードも合わせて整備します。

また、高島中央公園建設予定地の地下では、災害用の耐震型循環式地下貯水槽設置工事を行っています。この貯水槽は、1500tの容量を誇る国内でも最大級の規模で、災害時にはこの1基で17万人分の飲料水3日分が確保できます。

すでに完成している3基を合わせると、みなとみらい21地区全体では、50万人分の飲料水3日分を確保できることとなります。

さらに、横浜駅からみなとみらい21中央地区への歩行者の新たな玄関口として横浜駅東口ペデストリアンデッキを整備します。このデッキは、横浜駅東口地区から帷子川を渡ってみなとみらい21中央地区に至る歩行者専用の橋梁であり、旧高島ヤード地区の開発に伴って増加する横浜駅からの歩行者が安全で快適に当地区に訪れることができるようになります。

街づくりを促進する助成・支援制度

今後とも横浜市では、旧高島ヤード地区については、業務、映像文化、エンタテインメント、スポーツなどによる賑わいと活力ある街づくりをコンセプトとし、みなとみらい21地区全体のイメージや価値を高めるような施設の立地を促進する方針です。平成16年4月から実施されたみなとみらい21地区への企業立地に対する市税軽減や助成金交付などの支援措置制度と相まって、街づくりの促進に一段と拍車がかかるとともに、地域経済への貢献が大いに期待されています。

60街区 横浜みなとみらいスポーツパーク(仮称)
整備主体: 横浜市教育委員会
工事予定: 平成17年度 着工
平成18年度 竣工・オープン

61街区 「横浜F・マリノス」拠点施設
事業予定者: 日産グループ
工事予定: 平成17年4月 着工
平成18年12月 竣工・オープン

66街区 日産自動車株式会社
事業予定者: 日産自動車株式会社
工事予定: 平成19年春 着工
平成21年末 竣工



50街区南側敷地 都市型住宅
事業主体: 生活協同組合東京住宅供給センター等
工事予定: 平成17年 着工
平成19年 竣工

50街区北 E地区 都市型賃貸住宅
事業主体: 大和ハウス工業株式会社

53街区 GENTO YOKOHAMA
事業主体: 横浜ブロードキンググループ
竣工・オープン: 平成16年11月

55・56街区 映像文化エンタテインメント施設
事業予定者: 株式会社セガ
工事予定: 平成18年度 着工
平成20年度 竣工・オープン

高島の生みの親 高島嘉右衛門



高島嘉右衛門

高島の地名は、一人の実業家の姓由来しています。高島嘉右衛門。晩年は易学者として広く知られた人ですが、実はこの人が、日本最初の鉄道にも、日本最初のガス事業にも深く関わっていたのです。明治時代の初め、新橋・横浜間にわが国最初の鉄道が開通しましたが、当時の横浜駅とは現在の桜木町駅であり、海を埋め立てて線路を敷設するための用地の準備は困難を極めました。このとき私財を投じて用地を整え、これを国に献上して鉄道開通に道をつけたのが、高島嘉右衛門でした。鉄道用用地の献上と引き換えに、嘉右衛門は政府から土地を貰い受けるのですが、嘉右衛門はこの土地に高島の名をつけたのです。

旅館業、土建業などで頭角を現していた嘉右衛門は、ドイツの会社が計画していたガス事業への参入を表明し、日本人の出資のみによって横浜の地にガス事業を誕生させるという一大事業をも成功させています。

易学にも取り組んだ幕末・明治の快男児

江戸時代、材木商の長男として生まれ、血気盛んな若き日には投獄された経験もあるなど、嘉右衛門はまさに快男児なのですが、投獄中に学んだ易学により安政の大地震を見事に予測したという逸話も残っています。

高島嘉右衛門埋立監督の図



かもんやま
金港町から掃部山下にかけての埋め立てを高島より眺めた図

写真提供: 高島家

注目を集める総合エンタテインメント施設オープン

新高島駅に隣接した53街区において、東急不動産株式会社、三菱地所株式会社、株式会社東京放送、株式会社テイクアンドグヴ・ニーズの4社が進めてきた総合エンタテインメント施設『GENTO YOKOHAMA (ゲント ヨコハマ)』が、平成16年11月にオープンしました。この複合施設には、横浜最大の約2,600㎡のライブ空間を有するライブハウスをはじめ、県内初のフィルムを使用しない上映システム・DLPデジタルシネマを導入したシネマコンプレックス、横浜発祥の“もののはじめ”をテーマとしたアミューズメント施設、ハウスウェディングの会場施設とともに、各種ショップやレストランが outlet しています。これら多彩なエンタテインメント機能の集積により、来街者へ多様な感動を与えるみなとみらい21地区の新名所として、年間250万人の来場者数を見込んでおり、街の賑わい創出において期待されています。

また施設内には、新高島駅とグランモール軸とを結ぶ歩行者モールが通り、当地区内の来街者の回遊性をさらに高めるものとして注目されています。



ロゴマーク
赤が「元気」、青が「横浜の海」を表現している

事業主体	横浜ブロードキンググループ (東急不動産株式会社、三菱地所株式会社、株式会社東京放送、株式会社テイクアンドグヴ・ニーズ)
敷地面積	約14,300㎡
延床面積	約21,200㎡
施設内容	駐車場を含む計4棟 アミューズメント、ライブハウス、シネマコンプレックス、結婚式場、店舗 等

みなとみらいビジネススクエア



駅直結の新たなビジネス拠点の誕生

33街区に新たなビジネス拠点『みなとみらいビジネススクエア』が平成16年9月に完成しました。みなとみらい駅に直結した地上14階建てのビルは、3～8階までは東京海上日動火災保険株式会社が自社使用し、同社の神奈川県内担当部門の中核機能と、横浜市周辺の営業・損害サービス担当部門を集約しています。また、2階および9～14階はテナントが入居、1階と地下1階にはショップ、レストランなどが入り、ビジネス拠点としての充実を図っています。



エントランス(1F)



コーナerpark

事業主体	東京海上日動火災保険株式会社
敷地面積	約3,300㎡
延床面積	約29,200㎡
施設内容	オフィス、店舗 等

新たな開発募集街区情報 — 横浜市等で、公募実施中および今後予定の街区のご紹介をします —



◆公募実施中街区

街区	敷地面積	処分方法
42	約1.3ha	売却

◆公募予定街区

街区	敷地面積
20	約22,100㎡
43	約7,800㎡
46	約9,000㎡
57・58	約22,900㎡
11-2	約12,500㎡

ここで紹介している街区は、横浜市が現在公募中の街区および今後公募予定の街区です。

(平成16年12月末現在)

今後とも、市民の就業の場の創出を図るとともに、多くの方々に親しまれる賑わいと活気あふれる街づくりを進めていきます。

詳細は、
横浜みなとみらい公式ウェブサイト
<http://www.minatomirai21.com/development/>
をご覧ください。

60・61街区

「横浜F・マリノス」の活動拠点に

61街区では公募の結果、日産グループ(日産自動車株式会社・横浜マリノス株式会社)を事業予定者に決定しました。プロスポーツチーム「横浜F・マリノス」の活動拠点となると同時に、市民との交流拠点ともなる施設が計画されています。平成17年4月着工、平成18年12月オープン予定です。



「横浜F・マリノス」拠点施設イメージ図

施設面積	約45,600㎡
延床面積	約5,200㎡
施設規模	地上3階、高さ約12m
施設内容	クラブハウス、事務所 サッカーグラウンド4面 (天然芝2面・人工芝2面) スタンド棟(観覧席約1,200席)、店舗等

(設計段階で変更となる可能性があります)



横浜みなとみらいスポーツパーク(仮称)イメージ図

隣接する60街区では、横浜市が市民スポーツの振興を図ることを目的として「横浜みなとみらいスポーツパーク(仮称)」を整備する計画を進めています。整備内容は、人工芝グラウンド、クラブハウス、駐車場などで、平成17年度着工を目指しています。

これらが完成することにより、市民がさまざまな形でスポーツに親しめるみなとみらい21のスポーツゾーンとなります。

55・56街区

セガ「映像文化エンタテインメント施設」が進出

55・56街区の公募では、株式会社セガを事業予定者に決定しました。同社がこれまで培ってきた映像・技術・コンテンツ開発力などの集大成となる「映像文化エンタテインメント施設」として、「スポーツ」「映像」「世界に発信できる日本文化」のコンセプトのもと、ほかに類をみない、みなとみらいならではの個性あふれた施設を計画しています。平成18年度着工、平成20年度オープンの予定です。みなとみらい大通りを挟んで立地する「GENTO YOKOHAMA(平成16年11月オープン)」との相乗的集客効果が期待されます。



施設内イメージ図

施設面積	約18,000㎡
延床面積	約63,000㎡
施設規模	地上9階、地下1階、高さ約55m
施設内容	屋内型のエンタテインメント施設

(設計段階で変更となる可能性があります)

「みなとみらい21プロモーション協議会」設立

ホスピタリティと賑わいに満ちた魅力の街に

みなとみらい21では、平成16年7月、『みなとみらい21プロモーション協議会』を設立しました。この協議会は、みなとみらい21地区内の企業・団体および地権者が相互に連携して、街全体の総合的なプロモーション施策を展開するために設立されたもので、街ぐるみのクリスマスイベントの開催などを実施しています。現在の会員数は31に上り、街の魅力の向上、街の賑わいの創出、そして、来街者へのホスピタリティの向上を目的に活動しています。



みなとみらいギャラリー企画展開催

“みなとみらい街角アートの系譜”

『モクモクワクワ
ヨコハマヨヨー』
最上壽之 作

みなとみらいギャラリーでは、平成17年1月7日～2月6日まで、みなとみらい21地区内に点在しているパブリックアート(約50点)を紹介する企画展を開催します。パネルでの作品・作者の紹介、パブリックアートの楽しみ方や意義を語る講演会、美大生によるパブリックアートの清掃パフォーマンス、一般参加できるパブリックアートのドローイング(絵書き)ツアーなど、盛りだくさんの内容になる予定です。

<http://www.minatomirai21.com>

広告



ランドマークプラザへようこそ!

ショッピング、グルメ、眺望、コンサート、アート、ホテルステイ...
きょうのお楽しみはラグジュアリーな空間でゆったりと。

桜木町から動く歩道で徒歩5分 みなとみらい線みなとみらい駅から徒歩3分
【営業時間】ショッピング:午前11時～午後8時 カフェ&レストラン:午前11時～午後10時

ランドマークプラザ
www.landmark-plaza.com
〒220-8172 横浜市西区みなとみらい2-2-1 Tel.045-222-5015

LANDMARK PLAZA

広告



クイーンズスクエア横浜

Queen's Square
YOKOHAMA

みなとみらい駅直結
<http://www.qsy.co.jp>

横浜市西区みなとみらい2-3
Tel.045-682-1000(代)



横浜みなとみらい21公式ウェブサイト
<http://www.minatomirai21.com>

350万市民が
ごみ減量・
リサイクルに挑戦!

ヨコハマはG30

企画・発行 株式会社 横浜みなとみらい21
横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号 クイーンズタワーC11階(〒220-0012) TEL(045)682-0021 FAX(045)682-4400
横浜市都市計画局
横浜市中区港町1丁目1番地(〒231-0017) TEL(045)671-3501 FAX(045)651-3164
横浜市港湾局
横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル(〒231-0023) TEL(045)671-7341 FAX(045)651-7996

2004 DEC VOL.74
2004(平成16)年12月発行